令和８年度　第２回　流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会　議事録

１　日時

令和８年１１月４日　水曜日

１４時００分から１５時３０分まで

２　場所

流山市ケアセンター　第１・２研修室

３　出席者

（１）委員

濱田　竜也　会長、香山　雄斗　副会長、鈴木　美智子　委員、雨澤　慎悟　委員、髙村　友紀　委員、楠見　洋子　委員、横山　章子　委員、紺野　好美　委員、新井　祐介　委員、櫻井　壽一　委員、古林　泰子　委員

（全１５名中１１名出席）

（２）事務局（市）

伊原健康福祉部長

宮澤健康福祉部次長兼介護支援課長

高齢者支援課　時田課長、武林課長補佐、杉岡高齢者介護予防係長、君島主任保健師、白井保健師、池谷保健師、石田保健師

介護支援課　竹之内課長補佐、木村介護地域支援係長、西山主査、西澤主任主事、中西主任主事、小川主任主事

（３）地域包括支援センター

北部地域包括支援センター　石川　渉センター長

北部西地域包括支援センター　髙橋　和美センター長

中部地域包括支援センター　土谷　しのぶセンター長

東部地域包括支援センター（代理）　菅野　裕貴社会福祉士

南部地域包括支援センター　中尾　陽子センター長

4　議題等

（1）【報告事項】地域包括支援センターの職員の変更について

（事務局より）資料 1 のとおり職員の変更状況について報告した。現在、東部地域包括支援センターにおいて欠員が発生しているが、人員を調整している。

（委員）意見なし

（2）【協議事項】令和7年度流山市地域包括支援センター事業評価について

ア　評価指標について

国が策定した全国統一の評価指標(「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」(令和6年6月7日付老振発0704第1号厚生労働省老健局振興課長通知))を用いて、資料2－1に基づき事業評価を行った旨を事務局より説明した。

事前質問では、新井委員より「事業評価における4段階の評価について、評価の判断基準を教えてほしい。」との質問があった。

事務局からは、地域包括支援センター長へのヒアリングやアンケート結果、職員の離職状況等の様々な状況を踏まえて第三者評価委員が総合的に判断していると回答した。

イ　各センターからの報告と質疑応答

北部地域包括支援センター(石川センター長)

強み：北部高齢者なんでも相談室は江戸川台駅前の商店街に設置されているため、来所しやすい環境にある。急な来客や職員の専門外な質問にも対応できるよう相談室内に職員を2名配置している。

課題：事務所の移転により、来所のハードルが上がる可能性を考慮し、今後は来所者に移転先の周知徹底や訪問等のアウトリーチを検討していきたい。移転先での江戸川台出張所等の関係機関との連携を強化し、地域で支える体制の構築が課題。

質疑：(新井委員)現在事務所のある場所は今後どうなるのか。

(事務局)北部地域包括支援センターとその隣接する公園の敷

地を活用した駐車場の整備計画が検討されている。

北部西地域包括支援センター（髙橋センター長）

強み：地域資源マップを作成し、地域ケア会議や研修等で配布することで利用可能な資源の活用に繋げている。地域資源マップや相談室の周知を強化し、自治会や地域イベントを通じた情報提供を推進する。

課題：業務のマニュアル整備により効率化を図り、職員の業務負担の軽減を図るとともに、段階的な人材育成を通じて職員がやりがいを持てる環境の構築が課題。

意見：（雨澤委員）センター長や職員の業務負担を減らせるよう、AIを活用して事務作業を自動化し時間的余裕を作ることで、職員が相談しやすい環境を整えて職員の定着を図るのはどうか。業務知識を学習させることで、職員の思考をサポートし業務負担を軽減することができるのではないか。

中部地域包括支援センター（土谷センター長）

強み：地域ケア個別会議や民生委員児童委員協議会、自治会行事等に参加して顔の見える関係作りに注力した。困難事例が多く散見されるため、個別のケースを見落とさないように毎月の職場会議で状況確認をしている。

課題：医療連携が困難なケースが増加しており、独居で他者との交流を好まない高齢者への支援が課題。

質疑：（髙村委員）地域資源について紹介する地域マップはあるのか。
（土谷センター長）中部地域包括支援センターでは、相談内容に沿って資料を送付している。地域資源のマップは更新等が困難であり、マップ自体はこども家庭課が作成しているものがあるので、中部地域包括支援センターとしては作成できていない。

東部地域包括支援センター（代理：菅野社会福祉士）

強み：出張相談は開催場所を固定化することで相談件数が増加し、早期相談や重篤化予防に繋がっている。フォローアップ講座を実施して、地域住民への啓発活動にも取り組んでいる。

課題：職員体制の確保と相談対応の質の向上を継続的な課題として改善に努める。欠員についても、人員を調整している。

質疑：（古林委員）東部地域は柏市に隣接しているため、柏市や松

戸市等、近隣市の情報が分かるものが欲しい。

（菅野社会福祉士）本市の事業所については、情報があるため相談内容に合わせて対応する事業所をその場で薦めている。一方で、他市の情報については把握できていないと、その場では対応ができないことがある。近隣市の事業所情報の集約についてご意見として参考にさせていただきたい。

南部地域包括支援センター（中尾センター長）

強み：地域支援のネットワークの場として地域コミュニティケア会議を活用し、高齢者関係の事業所や自治会、民生委員だけではなく、市内の現役中高生や市内タクシー会社、住職等の多世代・多業種での交流を行い、関係構築に努めている。

課題：特記なし。

意見：（香山委員）一人でも欠員が出ると業務がひっ迫する現状を踏まえスタッフの充実や業務効率化を推進すべきである。将来的な欠員発生を未然に防ぐための予防対策として体制を整える必要がある。

（櫻井委員）新しい法律により幅員４メートル程度の道路では制限速度が時速３０キロメートル以内と定められた。南流山などの狭い道路においてこどもたちの安全確保のため、警察と連携してスピード違反の取り締まりを強化する体制を整えるべきである。

ウ　総評

市内５か所の地域包括支援センター運営は適切と評価された。地域問題が複雑化しているが、これまで取り組んできた課題と新たに実施するべき問題について内容を精査しながら地域包括支援センターの役割を果たしてほしい。そのためには、運営協議会のメンバーや高齢者支援課等の行政機関と連携していくことが必要となる。

エ　令和９年度（評価期間：令和８年度）評価スケジュールについて

（事務局より）資料２－３のとおり説明。

（委員）意見なし

（３）【報告事項】指定介護予防支援等の一部委託の状況について

（事務局より）資料３－１、３－２のとおり説明。公正・中立性は確保されていると判断された。

（楠見委員）一部委託について、現状や今後の増加見込みについて知りたい。

（事務局より）一部委託ではないと、利用者の方が制度について分かりづらい部分があり､単価が上がってしまうところもあり、全国的に見ても以前からあった一部委託の方が件数として多いのが現状。今後も直接指定の実施件数を増やせるよう検討していきたい。

（４）【協議事項】指定居宅介護支援事業者が介護予防支援の指定を受けて実施する場合の「包括的な委託」について

（事務局より）資料４のとおり説明。

（髙村委員）包括の業務負担軽減のために制度を周知させていくには、資料を十分に読み込まなければならないため周知の努力が必要だと感じた。ケアマネもシステムを理解して法人と協力した一部委託が実施できるよう、居宅のケアマネ管理者として尽力していきたい。

（事務局より）制度について理解していただけるよう、分かりやすい周知を進める。

（５）【報告事項】令和７年度指定地域密着型サービス事業報告について

（事務局より）資料５－１、５－２のとおり説明。

（鈴木委員）資料５－２の「デイサービスわたしの家」は今年の３月で閉所しましたので、報告します。

（古林委員）資料５－２の認知症対応型通所介護「優ったりサロンのどか」は登録者が１名になっているが、１名で運営していけるのか、実態は何か。

（事務局より)「優ったりサロンのどか」は普段のデイサービスがある中で、さらに認知症に特化した事業所になる。本市には現在、認知症対応型通所介護事業所が１事業所しかないため、継

続的に運営して頂くために明日の介護支援専門員連絡会等で事業所の周知を図る。

（６）【協議事項】指定地域密着型サービス事業所の指定更新について

（事務局より）資料６のとおり説明。事業所について、運営指導の結果、概ね適正な運営が確認され、指定更新が承認された。

（鈴木委員）サテライト事業所への変更はこれまでと何が違うのか。

（事務局より）もともと、グループホーム花いちもんめは「花いちもんめ翠」と「花いちもんめ紫」は２つの事業所で介護支援専門員を１名ずつ配置する人員要件だったが、ケアマネ不足により「花いちもんめ翠」を本拠点、「花いちもんめ紫」を小規模拠点（サテライト化）して人員要件を確保した。

４　その他

（事務局より）第１０期流山市高齢者支援計画について、資料７のとおり、報告。福祉政策審議会への諮問や審議会への審議及び答申を経て、パブリックコメントの準備が進行中。計画案は１１月下旬から１ヶ月間パブリックコメントを実施する予定のため、御意見等はパブリックコメントにお願いしたい。

次回の運営協議会は、令和９年３月１８日（木）午後２時からケアセンター第１研修室・第２研修室にて開催する。